

第2編 第2章 産業と資源

⑥工業の立地と工業地域の内容

8 日本の工業とその変容（教科書 P. 150～151）

▶高度経済成長と工業立地の変容 [p. 150]

- ①1950年代後半からの〔 〕…〔 〕・〔 〕などの素材工業，〔 〕・〔 〕などの機械工業が中心
→〔 〕や〔 〕
- ②1970年代の〔 〕…〔 〕や〔 〕などの組立型機械工業
→〔 〕工業
（縫製や電子部品など）は〔 〕や〔 〕へ（安価な労働力）

▶拡大する海外進出と工業の高度化 [p. 150]

- ①1970年代後半の〔 〕…〔 〕や〔 〕などの輸出拡大にともなう，アメリカなどとの〔 〕
→欧米諸国での〔 〕
- ②1980年代後半からの〔 〕…〔 〕や〔 〕，〔 〕などへの海外立地の拡大
- ③1990年代以降（バブル経済終了後）…景気の後退や企業の海外進出による，国内の工場や従業員の大幅減
→産業の〔 〕
→派遣労働など〔 〕の拡大，下請・関連企業の倒産や廃業
- ④アジア諸国の工業発展
→日本製品の市場を圧迫
→一方では，生産のための〔 〕や素材・部品が日本の新たな輸出品に
⇒日本の工業の高度化は，アジアの工業化や〔 〕と密接に関係している

▶知識集約化が進む日本の工業 [p. 151]

- ①〔 〕化

(付加価値の高い製品・サービスへの転換)

… []・[] 機能を高める

… [] (創造型企業) を生み出す

→日本の工業は多様性や層の厚さを増してきている

②大都市圏への研究・開発機能の集中

大都市内部の工場などが機能転換

→ [], [], [], バイオテクノロジー

など